アジャイルソフトウェア開発における概念モデルの 可能性

産業技術大学院大学 中鉢欣秀

2015-11-29

- ① 研究の背景
- 2 方法
- ③ まとめ
- 4 参考文献
- **5** メモ

アジャイル開発に適した要求分析手法

- アジャイル型のソフトウエア開発「Scrum」が注目されている
- スタートアップ型のビジネスのためのシステム開発に適している とされる
 - ●「リーンスタートアップ」の考え方と組み合わせられることが多い
- 近年、Scrum を大規模な業務システム開発にも適用しようとされる試みが始まっている
 - このような場合の要求分析の方法は?

アジャイル開発における要求分析

Scrum と要求分析

• Scrum は「Product Backlog」を作ることから始まる

Product Back Log とは

- PO が作成した「ユーザストーリ」
- アイテムには優先順位をつける
- 常に開発の状況と道筋を反映し続ける

Product Back Log 作成の前工程

リーンキャンバス

- ●「30分で作る事業計画書」
 - 詳細な事業計画書を作るのではなく、1枚の紙にまとめる

エレベータピッチ

- アメリカ・シリコンバレーの起業家が発祥のプレゼンテーション 方法
- 30 秒・約 250 字で相手に自社やサービス、自分自身のことを相手 に説明する方法

リーンキャンバスの例

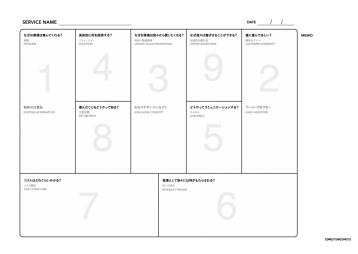


Figure: Template of lean canvas

エレベータピッチの例

7

エレベーターピッチの例

[自分の持ち物を売ることを]したい [主として若い女性]向けの、 [メルカリ]というプロダクトは、 [フリマアプリ]です。



これは[持ち物の出品と販売をする]ことができ、 [ヤフオク]とは違って、 [モバイルアプリだけで簡単に出品をする機能]が 備わっています。

Figure: Example of elevetor pitch

研究課題

- リーンキャンバスやエレベータピッチからだけで Product Back Log が作れるのだろうか?
- 基幹業務システムなどの大規模開発には不向きなのではないか?

- ① 研究の背景
- 2 方法
- ③ まとめ
- 4 参考文献
- **5** メモ

既存の手法

- アジャイルモデリング
 - アジャイルモデリング (AM) ホームページ
- DAD (Disciplined Agile Delivery)
 - Disciplined Agile 2.0 | A Process Decision Framework for Enterprise I.T.

SBVA 法との組み合わせ

SBVA 法

- LW な要求分析手法として提案
 - 中鉢欣秀, 小林孝弘, 松澤芳昭, 大岩元: シナリオの図解化によるユースケースモデリング, 電子情報通信学会論文誌 D, Vol.J88-D1, No.4, pp.813-828, 2005/04/01
 - 中鉢欣秀: 専門職大学院におけるモデリング教育と SBVA, 要求分析 WS in 奄美大島, 2008
 - Think IT 第1回:シナリオに基づく設計と SBVA 法とは?(1/3)

研究の障壁

- 分析用のツールの開発
- 実際の業務に基づいた事例が必要

ツールの設計

• 2009年にツールの設計(要求分析)のみ実施

企業との共同研究

- 大手産業機械メーカ(大阪)の子会社が興味を示す
- 基幹システムの再構築を目指す

現在の進捗状況

• 別資料

- ① 研究の背景
- 2 方法
- ③ まとめ
- 4 参考文献
- **5** メモ

まとめ

TODO

- ① 研究の背景
- 2 方法
- ③ まとめ
- 4 参考文献
- **⑤** メモ

参考文献

- Running Lean 一実践リーンスタートアップ
- 「リーンキャンバス」を使って事業計画書を 30 分で作る方法 | Stay Creative!
- 分かりやすくプレゼンをするコツ「エレベーターピッチ」とは?-NAVER まとめ
- 新規製品開発のための UX デザインワークショップ | ATOMOS DESIGN

- ① 研究の背景
- 2 方法
- ③ まとめ
- 4 参考文献
- **⑤** メモ

メモ